

議 会 だ よ り

議長に森谷政義氏 副議長に大矢一夫氏を選出



副議長
大矢 一夫



議長
森谷 政義

観音寺市では、本年を多様化する市民ニーズに柔軟に対応するための社会基盤の整備や都市機能の充実を図り、「将来にわたって輝き続けるまち」を創るスタートの年と位置づけています。

統合小学校・幼稚園・保育所の建設が始まり、新庁舎、新市民会館の建設計画などが、確実に進んでおります。これらの社会資本の整備にあたっては、市議会としては市民の立場に立つて執行部と十分に議論し、真に市民の望む施設となるよう、議会のチェック機能を果たしていきたいと考えています。

市町合併後8年目を迎え、市議会も新観音寺市の議会となって2期目の最終年となります。議会報告会や市民フォーラムを通じて、これまで以上にわかりやすい開かれた市議会を目指して頑張つてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

12月定例会の主な内容

一般会計補正予算など原案可決

4日招集・会期17日間

平成24年度第4回定例会が12月4日招集され、20日までの17日間の会期で開かれました。

4日の招集日には、歳入・歳出予算の総額に4億1,714万2千円を追加し総額を254億9,588万7千円とする一般会計補正予算のほか特別会計などの補正予算5議案、専決処分承認など20議案の計25議案が提出され、市長の提案理由の説明に続いて、委員会付託を省略し即日採決の後同意された委員の任命・選任など3議案を除く22議案がそれぞれ所管の委員会に付託されました。

10日・11日の両日は、12名の議員が一般質問に立ち、それぞれ当局の考えをたずねました。

12日から14日にかけて総務・建設経済・文教民生などの各常任委員会が開催され、付託された議案や陳情などを慎重に審査しました。

最終日の20日には、本会議において、各常任委員長より付託された議案などの審査結果が報告され、採決の結果すべての市長提出議案を承認・可決・同意、陳情3件を継続審査、1件を不採択と決定しました。

続いて、市長より工事請負契約の締結など3議案が追加上程され、直ちに総務常任委員会に付託し、審査が行われました。本会議において委員長報告が行われ、採決によりすべて同意と決定しました。

また、議員により、議会提出議案として議会基本条例の一部改正など3議案が提出されましたが、これらもすべて可決と決定して本会議を閉会としました。

なお、審議結果は、13ページ「審議した議案等とその結果」のとおりです。

平24.12.4 選任

常任委員会		
総務	委員長	篠原重寿
	副委員長	安藤康次
	委員	大賀正三
	"	大久保隆敏
	"	原俊博
	"	大矢一夫
建設経済	委員	井上浩司
	"	大平直昭
	委員長	立石隆男
	副委員長	伊丹準二
	委員	岡田正徳
	"	中村保男
文教民生	"	森谷政義
	"	楠井泰功
	"	安藤清明
	"	五味伸亮
	委員長	西山正勝
	副委員長	詫間茂
広聴広報	委員	秋山忠敏
	"	高橋照雄
	"	黒川健太郎
	"	安藤清高
	"	石山秀和
	"	友枝俊陽
広聴広報	委員長	石山秀和
	副委員長	五味伸亮
	委員	楠井泰功
	"	安藤清高
	"	篠原重寿
	"	井上浩司
"	大平直昭	
"	詫間茂	

平24.12.4 選任

議会運営委員会		
委員長	中村保男	
副委員長	五味伸亮	
委員	秋山忠敏	
"	西山正勝	
"	大賀正三	
"	安藤忠明	
"	篠原重寿	
"	立石隆男	

12月定例会で 次のおり委員の 任命などに同意しました

- 教育委員会委員
齋藤悦子 木之郷町
- 公平委員会委員
平野清 大野原町
- 人権擁護委員
五味勲 高屋町
三宅敬子 琴浪町



個人質問 一般質問項目表 (12月定例会)

諛問 茂 (民政クラブ)	・トライアスロンについて ●小・中学校の教育現況について ・運動公園の整備について
黒川健太郎 (民政クラブ)	●市長選挙について ・第2回瀬戸内国際芸術祭について
大平直昭 (民政クラブ)	・自治基本条例について ●農業施策について ・自治会館の建設整備に対する補助金について
安藤康次 (無所属)	●2013年度予算編成方針について
篠原重寿 (社会民主党)	●子育て支援について ・耐震対策について
井上浩司 (民政クラブ)	・支所のあり方について ●農業政策について
安藤清高 (日本共産党)	・来年度(2013年)予算編成の基本方針について ●介護保険の認定について ・介護保険料・利用料の減免制度実施について ・介護手当の支給改善について ・自主防災組織への支援について ・ため池の防災対策について ・通学路危険箇所の改善について
石山秀和 (公明党)	・税の滞納整理について ・介護保険制度の改善について ●観音寺版「ゆるキャラ」でまちおこしについて
伊丹準二 (民政クラブ)	●公共施設・道路について ・経済活性化について ・医療・福祉環境の向上について ・地域サロンについて
原俊博 (市民フォーラム)	●2013年度予算編成方針について
安藤忠明 (公明党)	●竜巻・落雷対策について
五味伸亮 (市民フォーラム)	・ファミリープールの施設管理と運用について ●瀬戸内国際芸術祭と周辺地域の相互連携について ・土曜日授業の導入提案について ・中央七間橋線の道路拡幅事業について

●印については、質問と答弁の内容を本ページ以降に掲載しています。

質問と答弁

個人質問

諛問 茂

小中学校の教育現況について

質問

現在の小・中学校の先生方の勤務状況は多忙を極め、ほとんどの先生方が朝7時ごろから夜8時・9

答弁

小・中学校の教員は学習指導や生徒指導、生活指導に、また、支援を要する児童生徒への個別指導や

時ごろまで仕事をし、土日も学校で仕事をしているのが現状である。国で定められている教諭の人数では明らかに人員不足であり、教員の加配、市講師・支援員を多数配置することが不可欠である。先生方が本来の仕事である授業、部活動に集中し、生徒と向かい合う時間の確保ができるよう努力していただきたいと思うが当局の考えを伺う。

校内の数多くの校務分掌・事務作業に多くの時間を費やしている。市教育委員会としては、教育活動の充実のために加配教員の増員要請、市講師、支援員の配置、学校ボランティアの導入など、多面的に検討していきたいと考えている。そして先生が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、いじめや不登校などにも対処したいと思っ



黒川健太郎

市長選挙について

質問

白川市長は観音寺市・大野原町・豊浜町の1市2町が合併した選挙で初代の市長として当選され、次の選挙でも当選、現在は2期目である。市長は来年の市長選挙に再度出馬されるのかどうか伺う。

答弁

私は、合併後の観音寺市長として2期目を迎えている。この間、市民の皆さまのご理解とご協力をいただき、住みよいまちづく

り、元気都市観音寺の実現をめざして、全力で市政に取り組んできた。これまでの市政に対して、多くの方々からのご支持、ご声援をいただき反面、市政に対する不満や一体感の醸成の不足十分の声を聞くことも事実である。これらの声に対応するためにも、市長として市民に対して、市の施策や取り組みを十分に説明する責務があると思ひ、機会があるごとに、自治会総会や敬老会などの各種会合に出席して、施策の説明をしている。したがって、全力

市民フォーラムのご案内

テーマ
安心して子どもを産み育てられる環境づくり

日時 2月15日(金)
午後6時30分～午後8時30分

場所 市民会館中ホール
(エレベーターが利用できます)

内容 第1部 基調講演
NPO法人いのちの応援舎
理事長 山本 文子氏
「～いのち輝いて～」
第2部 パネルディスカッション
市民、保育現場の先生、園経営者、
市子育て関係部局からのパネリスト
による討論会

質疑応答

主催 観音寺市議会
問合せ 議会事務局 ☎23-3913

で市政に取り組むことはもちろん、市民の皆さまに、より一層のご理解をいただき、適当と思う時期に、私自身の進退を明らかにしたいと考えている。

大平 直昭

農業施策について

質問 昨年来要請している市独自の新たな農業施策を、来年度に計画しているのかどうか伺う。

答弁 担い手が農地を集積しやすいように、育成すべき農業者農地集積支援事業や県の新規就農者サポート事業への取り組み、また、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、市独自の新規就農者活動支援事業の創設、そして、イノシシなどの有害鳥獣の被害防止のための器具導入への支援、また、地域ぐるみでの組織化を通じ、地域農業の新たな取り組みを実施するため、県の地域を支える集落営農加速化事業への支援、さらに、耕作放棄地を再生するための耕作放棄地再生対策

事業への取り組みなどを実施する計画であり、来年度は農地の集約、新規就農者支援、担い手の確保、耕作放棄地の解消などに重点をおいた農業施策を考えている。

安藤 康次

2013年度予算編成について

質問 「枠配分方式」を採用する中で、物件費、補助費、投資的経費5%削減の具体的な考え方。国による地方交付税の削減が感じ取られる中、投資的経費など5%削減、経費の大胆な縮減と徹底した歳出抑制の予算編成では市政運営が硬直して「生き生きした」動きにならない、5%を超える金額の自主財源の確保・確立策を早急に立案すべしと考える。

答弁 歳入は市税・地方交付税の減少が見込まれる。よって、歳出においては、すべての事業において緊急性、必要性を再点検し、物件費、補助費などの経常的な管理的経費及び普通建設事業などの投資的経費につ

いては、一般財源ベースで平成24年度当初予算額の95%の範囲内で見積る。自主財源の確保策は、市税や使用料などの収納率向上と中長期的に市税収入増加要因となる住環境整備による転入・定住策や産業振興、活性化策を推進し、住みやすさ魅力ある本市の実現に向けた予算編成に取り組みたい。

篠原 重寿

子育て支援について

質問 ①子どもを産み育てる環境整備を図るための「次世代育成支援行動後期計画」(平成22～26)の中間的総括は②2年前子育て支援策として、シルバー人材へ委託し、豊浜支所横で開設した「すくすくクラブ」の利用状況は③ファミリーサポートセンター(子育て世帯が一時的な子ども預かりを希望した時、登録している家庭が預かるシステム)は県内8市の内6市がすでに実施している。わが市も導入すべきでは。

答弁 ①計画は14の施策目標で取り組みを進め、国や県の制度と関連する分野は連携を図る。目的達成の検証として、アンケート調査なども視野に検討したい。

②平成24年度10月末までは、親子ひろばが377組、一時預かりが46人、子育て相談が31件となつている。③「次世代育成支援行動計画」にもファミリーサポートセンターの立ち上げに向けて、支援団体などの掘り起こしや育成を行うとなつている。平成26年度開設に向け、委託先などを含め検討する。

井上 浩司

農業政策について

質問 耕作放棄地や農地の遊休地の有効な活用が喫緊の重要課題で、農地の集約化が今後重要であると考え、その対応策として農地を集約化し、やる気のある働き手が借り手となるための、魅力ある農地へと転換する必要がある、農業公社などの設立について伺う。

答弁 農業公社の設立については、市が直接設立することはできないが第3セクターを設立し、出資することとは可能である。すでに農業公社と同じような農業法人・集落営農といった団体やグループが市内に存在している。こういった団体やグループは独自に活動をし、農地の集約や大型農業機械の導入で、地域農業の中心的存在となつている。現状では、こういった人達に頑張つていただき、もっと多くの農業法人などが設立されることを期待している。

また、農地を農地として安全管理していくには、国・県の圃場整備事業を活用し、利用しやすい農地にすることが、費用対効果から有望かと思う。

安藤 清高

介護保険の認定について

質問 介護保険は、高齢者に対する公的な介護サービスを提供する制度である。憲法で第25条が定められて

石山 秀和

観音寺版「ゆるキャラ」で町おこしについで

いる生存権をすべての高齢者に保障する立場から見ると現状は、だれもが安心して必要な介護を受けられる制度にはなっておらず、要介護認定度の判定・保険料・利用料の減免制度などの改善が強く求められている。

①認定有効期間中の介護認定区分の変更について②認定に不服がある場合の不服申し立てについて③不服審査などを申し立てたくても手法がわからない利用者のために制度を分かりやすくする周知について

質問 「ゆるキャラ」を核としてさまざまなアイデアが生まれ、それに付随したご当地商品が次々と生み出されている。その中で「ゆるキャラ」が、地場産業の活性化に革命的なインパクトを与えている。この流れに本市も遅ればせながら、特産品などと連動させたイメージ作りを開始すべきと提案する。

答弁 ①要介護認定区分変更については、認定有効期間中に、介護度が変化した場合には要介護状態区分変更申請ができる。②認定結果に不服がある場合は、香川県介護保険審査会に不服の申し立てができる。③不服申し立ての周知については、本人に認定結果を通知する通知書の中に記載して、本人、家族に周知をしている。



公共施設・道路について

伊丹 準二

「とんぼくん」は秋祭り、ちようさ祭のマスコットキャラクターとして使用されており、現在もそれぞれイベントに参加し、活躍中である。

質問 先日の中中央道トンネル崩落事故にたとえられるように、不測の事故に対して行政は、その責を問われることは言うまでもない。本市が管理する公共施設・道路・橋梁についても同様である。将来的な財政縮減傾向の中、過不足のない施設運営を行うことが重要となっている。合併後7年を経過した今、285カ所の公共施設・道路・橋梁について総合的な必要性、重要性に基づいた将来的活用に着目込んだ『管理台帳』の有無と、将来の取り組みについてお聞きする。

答弁 平成19年度から公有財産管理システムを導入し、平成22年度から年次更新を行っているが、今後は増改

原 俊博

2013年度 予算編成方針について

築、修繕などの現状把握に努め、公有財産の総合的な管理と有効活用を行いたい。市道については、総延長574キロメートルを日々の道路点検などで対応したい。橋梁361橋については、延長15メートル以上の44橋について、維持管理費の縮減と将来的な予算の平準化を目的とした「橋梁長寿命化修繕計画」を実行していく。

質問 予算編成を振り返ると21年度は前年度比10・7%減で230億5千万、5回の補正を含め、約24億増となる。22年度は前年度比0・7%減で228億8千万、3回の補正を含め約36億増、23年度は前年度比0・5%増、229億1千万、4回の補正を含め、8億4千万増、24年度は前年度比6%増、242億9千万、3回の補正を含め、12億増、25年度は新聞紙上に発表さ

安藤 忠明

竜巻・落雷対策について

れ2012年度当初予算比5%削減の方針。厳しい財政運営を想定、事業の選択と集中を図り、経費の大胆な縮減と徹底した歳出抑制を講じるとある。5%削減方針新聞記事を見た市民はどう考えるか。約12億円の削減、全事業一律5%削減するのかが、具体的な方針が必要ではないか。3月予算審査の判断材料となる方針が必要。本市の考えは。

質問 近年、全国的な被害が起きているが、本市の被害や対応についてお知らせいただきたい。また、サイバーやパソコンなどの保護はどうなっているのか伺う。

答弁 落雷により保存木が燃えたり施設の煙感知器が故障したりしている。本市には気象庁発表の注意情報を市民にお知らせするシステムはない。報道による気象情報などに注意を払い、早めの避難を心がけていた。次情報に機器的保護については、UPS（瞬間停電や過電流に対応し保護する装置）を設置しており、過電流保護機能付OAタップの導入も進めている。また、新設される施設については、これらの保護対策を新築時に導入し、万全を期していく。

五味 伸亮

瀬戸内国際芸術祭と周辺地域の相互連携について

質問 今回の瀬戸内国際芸術祭は、3シーズンすべてに香川県まで訪れる県外からの来客は少ないと考え、1日平均700人の達成は困難だと思う。そこで注目するのは3割の地元集客。地元とは、三観地域、四国

中央市、三好市で、合計で人口25万人になり、目標は達成できると考える。つまり近くに居ながら訪れるきっかけがなかった地元へのPRが大切になる。そこで、例えば本市のHPや広報、情報発信ツールを利用し、伊吹島をPRするとともに三豊市の紹介をする。同様に、三豊市にも本市の紹介をしていただくという相互連携を提案する。お互いがお互いの観光資源を理解し、宣伝し、これからの観光行政を、市単独ではなく、周辺地域一帯で考えていける共生地域の実現に向けて取り組んでいただきたいと思うが、当局の考えを伺う。

答弁 近隣市との連携については、四国まんなか交流協議会の数々の事業で連携強化を図っている。三豊市を含め、周辺地域のホームページとのリンクや広報紙を活用してのPRについては、瀬戸内国際芸術祭を契機とし、相互連携が図れるように検討していく。



総務委員会の行政視察の報告

議会の活性化および議員活動に活かすことを目的に、下記の内容で先進地視察を実施しました。

日時 平成24年11月12日(月)～13日(火)

場所・事項 ●東京都立川市

【協働のまちづくり】

①協働推進指針

役所と市民活動団体などが協働するだけでなく、市民同士の協働、市民と企業との協働など複合的な協働を展開することによって、「新しい公共」を推進していくことが目標。市民などの自主的な活動で地域を支えていく。

②協働のまちづくり推進事業補助金

地域課題解決のため、他の団体と連携及び協働し、自発的に取り組む公益的な事業に対し、「協働のまちづくり推進事業補助金」を交付。

●東京都西東京市

【公共施設保全計画について】

①公共施設保全計画について

市の合併により、同機能施設の重複や老朽化の進行という課題が発生。解決策として、施設白書を策定し、施設管理システムを構築、公共施設保全計画を策定。今後、公共施設の適正配置計画や長寿命化計画も検討中で、施設保全計画の更新も予定。



▲立川市



▲西東京市

参加者 委員長 伊丹準二、副委員長 立石隆男
委員 中村保男、森谷政義、楠井泰功、安藤忠明、五味伸亮

審議した議案等とその結果

●第4回（12月）定例会

議案名	審議結果
※市長提出議案	
専決処分の承認について（平成24年度観音寺市一般会計補正予算（第3号））	承認
観音寺市証人等の実費弁償支給条例の一部改正について	原案可決
市町合併に伴う栗井坂瀬山林の特例に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市一般廃棄物処理施設技術管理者の資格を定める条例の制定について	〃
観音寺市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市公園条例の一部改正について	〃
観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について	〃
観音寺市下水道条例の一部改正について	〃
観音寺市放課後児童クラブ条例の一部改正について	〃
観音寺市公民館条例の一部改正について	〃
観音寺市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	〃
観音寺市航路事業施設条例の一部改正について	〃
教育委員会委員の任命について	同意
公平委員会委員の選任について	〃
人権擁護委員の候補者の推薦について	〃
市道路線の認定及び変更について	原案可決
観音寺市公共下水道観音寺第1ポンプ場（災害復旧）の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	同意
財産の処分について	〃
平成24年度観音寺市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
平成24年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
平成24年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃
平成24年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算（第1号）	〃
平成24年度観音寺市航路事業特別会計補正予算（第2号）	〃
平成24年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃
工事請負契約の締結について（観音寺小学校建設事業 屋内運動場・プール棟 建築主体工事）	同意（反対2人）
工事請負契約の締結について（観音寺幼稚園・保育所建設事業 建築主体工事）	〃（反対3人）
工事請負契約の締結について（観音寺幼稚園・保育所建設事業 機械設備工事）	〃（反対3人）
※陳情	
住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情書	継続審査
ゆきとどいた教育の実現を求める意見書採択に関する陳情	不採択
安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	継続審査
介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	〃
※議提議案	
観音寺市議会基本条例の一部改正について	原案可決
観音寺市議会会議規則の一部改正について	〃
観音寺市議会委員会条例の一部改正について	〃

— 広聴広報委員会 —

皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

- | | |
|------------|-------------|
| ◆委員長 石山 秀和 | ◆副委員長 五味 伸亮 |
| ◆委員 楠井 泰功 | ◆委員 安藤 清高 |
| ◆ " 篠原 重寿 | ◆ " 井上 浩司 |
| ◆ " 大平 直昭 | ◆ " 詫間 茂 |

〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号
 ☎ 23-3913 FAX23-3914
 Eメール gikai@city.kanonji.lg.jp



議会からのお知らせ

- 次回の定例会は3月の予定です。本会議はだれでも傍聴できます。
- 本会議の録画映像をインターネット配信しています。いつでもご覧いただけますので、ご利用ください。

<http://www.city.kanonji.kagawa.jp/>